

横浜製油所 潤滑油・グリース製造設備への助成事業認定について ～神奈川県と横浜市の両自治体から助成事業の適用を受ける第一号案件に～

記者各位

当社(社長:渡 文明)の石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔、東京都港区)は、横浜製油所(所長:古田峰夫、横浜市神奈川区)に建設を予定している潤滑油・グリース製造設備につきまして、2005年1月に申請しておりました神奈川県の「施設整備等助成事業」の対象事業としてこの度認定を受けましたのでお知らせいたします。なお、同事業は、既に横浜市の「企業立地等促進特定地域に進出する事業者に対する支援措置」の対象として認定されており、今般、横浜市と神奈川県の両自治体から助成事業の適用を受ける第一号案件となります。

新設される製造設備は、新日本石油グループの潤滑油製造体制の再構築のため、新日本石油加工株式会社東京工場(工場長:渋谷敬一、江東区)で行なっている潤滑油・グリース製造を、新日本石油精製(株)横浜製油所に集約するものです。

今回の潤滑油製造拠点の集約化により、横浜製油所の潤滑油生産量は現在の約1.4倍に拡大し、生産効率および製造品質の観点から格段に高度化された製油所となることから、神奈川県および横浜市の助成制度の対象事業として認定を受けたものです。

潤滑油・グリース製造設備の概要

(1)	所在地	横浜市神奈川区子安通三丁目390番地
(2)	設備概要	鉄骨造 地上3階建て(8,892m ²)
(3)	助成金対象投資額	神奈川県:60.6億円、横浜市:66億円
(4)	助成金見込み	神奈川県:5.5億円、横浜市:2億円
(5)	完成予定	2006年5月・・・潤滑油・グリース製造設備 2007年4月・・・潤滑油倉庫
(6)	新設設備で製造される潤滑油・グリースの特徴	
	1. 潤滑油:	環境配慮性能(省エネ、長寿命等)を兼ね備えた高性能潤滑油製品を製造します。
	2. グリース:	一般のグリース製品の製造に加え、特に高温での使用に耐え、且つ長寿命である「高性能グリース」を製造します。

以上

-  「新日本石油精製の概要」(PDF:11KB)
-  「新日本石油精製 横浜製油所の概要」(PDF:12.1KB)
-  「新日本石油グループ潤滑油製造体制の再構築計画について」(PDF:16KB)